

森と人と。

兵庫県森林ボランティア団体活動紹介

Volume 01 / 2023 November

兵庫県では、身近な森林や自然環境を守ろうと200以上の森林ボランティア団体が活動しています。北は但馬から南は淡路まで、伐採や遊歩道の整備、植樹や自然観察会など活動内容もさまざま。日々どんな場所でどんな活動をしているのかをご紹介します。

<Report>「森は与えられるものじゃなくて育てていくものだから」 <Interview>一人で始めたゴミ拾いから、地域の憩いの森づくりへ。 <Calendar>可憐な花と多様な生き物であふれる、あびき湿原の1年。 <森林ボランティアとは>「人がはいる。それが“豊かな森”」 <Photo Album>こんな場所でこんな笑顔 ...etc.

Report -レポート-

「森は与えられるものじゃなくて 育てていくものだから」

—— フォレスター松寿 代表世話役 永井 唯晴さん



土曜日の朝、JR甲南山手駅に集合したらまずは住宅街の急な坂を20分かけて上がり六甲山への登山口に到着。そこでみんなで準備体操をし、刈り払い機などの荷物を担いでいよいよ山へ。登山道を歩くこと30分、少し開けた場所にたどり着きます。遠くに海も見えるこの場所がフォレスター松寿の活動地です。

「まず山に登るでしょ、それから草刈りとかの作業をするから、大変といえば大変だけど、清々しい気持ちになるんですよ。お昼になればみんなでご飯食べて、下山したら私はいつもそのまま銭湯に。もちろんビールも、ね。それがまた幸せで。全身使うから体は疲れてるけど、終わったら次の活動日が楽しみになってるんですよ」と会員のひとり。同僚に話を聞いて「なんだか楽しそう」と参加したのがきっかけで、活動は3年目になるそう。この日は電動の刈り払い機を軽々と持ち、笹藪を刈っていた。「終わった時、ここがきれいになってるのが気持ちいいですよ」。

参加者は10代から80代まで幅広い。倒木を片付けるグループ、伐採をするグループなど、ベテラン陣や初心者が混じり合って作業を進める。この日が初参加という女性は「山が好きでよく歩いていただけ、こうやって誰かがきれいにしてくれてたんだって。やってみて初めて気がきました」と登山道の階段の草を一段一段鎌で刈りながら話してくれた。

代表世話役の永井さんはこの地域で生まれ育ち、放課後、友人と山で過ごす日々が日常だったそう。永井さんは言う。「森と共生する」なんてたいそうなことじゃなくて、木のそばにいる。森の中にいる。それでいいんです。青空があって木があって、ここにいるだけで気持ちがいいでしょ。その場所を持続できるように守っていくということが森林ボランティアの活動だと思っています。家だって持続させるのにメンテナンスが必要のように、森も同じ。森は与えられるものじゃなくて育てていくもの。それだけのことなんだと思います。理屈じゃない、喜び。かな」。

フォレスター松寿 神戸市

2009年設立。甲南女子大学北部の古くからの登山道魚屋道(とやみち)尾根コースの途中が活動場所。雑草木の刈払い・除伐や植樹・登山道などの整備を行う。





Photo Album
**こんな場所で
 こんな笑顔**
 みなさんの「笑顔」の写真、
 集めました。

写真提供団体一覧

1: あびき温原保存会 (加西市) / 2: 奥播磨夢倶楽部 (宍粟市) / 3: お太子木こりん (太子町) / 4・5: 神付・産土の森の会 (神戸市) / 6・7: 溪のサクラを守る会 (川西市) / 8: 田和棚田交流人 (佐用町) / 9: 丹波おおやま山オーナー会 (丹波篠山市) / 10: ひょうご森の倶楽部 (全県) / 11・12: 平松区森林愛好会 (丹波市) / 13: フォレスター松寿 (神戸市) / 14-18: ほくら〜ととや森の世話人倶楽部 (神戸市) / 19・20: 的形ふるさと里山会 (姫路市) / 21: もりんちゅうの会 (三田市) / 22: よこおみち森もりの会 (神戸市)

Topics
 -トピックス-

各地の活動団体から届いた、
 日々のトピックス。

お太子木こりん 太子町

応募殺到、たけのこ掘り大会。

毎年恒例のたけのこ掘り大会! SNSで告知して参加を募れば応募殺到! 裏年にも関わらず子どもたちは森を駆け回っていました。みんなで楽しく竹林整備です。

平松区森林愛好会 丹波市

里山の清流と孟宗竹で贅沢なソーめん流し。

恒例の夏まつりイベントで地域の子どもたちを対象に里山の清流と孟宗竹(12m程の青竹)を利用してソーめん流しをしています。とっても冷たくておいしいと人気定番の一つになっています。里山の森林資源を活用した贅沢なひと時です。

的形ふるさと里山会 姫路市

地元の子どもたちから「里山のおっちゃんやー!」。

家の裏の路地で、子どもたちの声が聞こえたので何気なく窓を開けたら、「里山のおっちゃんやー」と4人の小学生が集まってきました。自転車で村の中を探検しているとの事。顔なじみはこども園からの関わりのお陰です。

ひょうご森の倶楽部 全県

おしゃべりしながら秋のシバグリの拾い。

秋が近づくと、活動地の毎年決まったところで、シバグりを拾います。去年も採れたなあとか、去年より時期が早いなあとか、休憩中におしゃべりしながら、最後解散の前には採ったシバグりをみんなで分け合います。これも森の恵みの1つです。

フォレスター松寿 神戸市

一人三石運動。

登山道の入口で「一人三石運動」を実施中。登山道の入り口に小石を置いておき、ハイカーの方に登山道の途中まで持っていくようにお願いしています。小石は、登山道整備時に、登山道の階段の土砂流出防止とハイカー滑り止めとして活躍しています。

井手里山を守る会 淡路市

年末最後は門松づくりを。

年末になると活動フィールドの入り口に大きな門松を作ります。同時に作った小ぶりの門松は集会所の玄関に。十年以上続いている作業で年末の仕事納めになっています。

神付・産土の森の会 神戸市

薪を使ってくれるピザ屋さんがみんなの自慢。

森林整備活動で伐採した木は薪や炭にして、販売して活動資金にしています。活動地の近くにあるピザ屋さんにも、薪を販売しています。そのピザ屋さんは繁盛しているようで、みんなのちよつとした自慢話です。

奥播磨夢倶楽部 宍粟市

高原のススキで茅葺き屋根の葺き替え体験。

毎年秋に、高原のススキを刈り取り、茅葺き屋根の材料にしています。冬には茅葺き屋根の葺き替え体験ワークショップを実施しています。作業を終えたその顔に充実した様子が伝わってきます。

兵庫県の森林ボランティアについて

兵庫県は1994年に第45回全国植樹祭が兵庫県村岡町(現香美町)で開催されたことを契機に、同年より森林ボランティアを育成してきました。2023年3月現在、県内では218の森林ボランティア団体で、10,507人の森林ボランティアが活動されています。

▶ 森林ボランティアにご興味を持たれた方は

すぐに体験・活動してみたいという方は、兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会のHPに、県内で活動する森林ボランティア団体の連絡先などを掲載していますので、直接ご連絡ください。また、県では基礎から森の働きや整備方法などを学べる、森林ボランティア講座を開催しています(例年9~12月に実施、受講受付は例年7月)。受講方法など詳細はHPをご覧ください。

問い合わせ先: 兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会(事務局: 兵庫県農林水産部治山課) TEL: 078-362-3613 / FAX: 078-362-3952



兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会 HP



兵庫県森林ボランティア講座 HP

● 兵庫県では、公益的機能を高度に発揮する「豊かな森づくり」を目指して、県民総参加で守り、育て、活かし、広げる取り組みを展開している中で、「森林ボランティア」や「企業の森づくり」を応援しています。